

## 唐津藩歴代藩主の移り変りとその政治②

～大久保時代～

### ■大久保時代 2代30年

初代 大久保加賀守忠(ただ)職(もと)

2代 出羽守忠(ただ)朝(とも)

石高 8万3,000石 (天草40,000石は天領となる)

初代大久保加賀守忠(ただ)職(もと)は、慶安2年(1649)播磨の明石から入部。唐津城にはこの時から明治の廃藩置県までの220年間に、5家の譜代大名18人が在城することとなった。

大久保氏は、庄屋の下に名頭(みょうとう)を設け、唐津藩独特の村方三役制を定めたり、庄屋の転村制(村替え)を実施したりして郷村支配強化に力を入れた。五人組の制度や宗門改めが始まったのもこの頃である。忠職は寛文10年(1670)67才で死去、墓は京都の本禅寺にあるが、唐津には和多田の見晴らしのいい高台(丸宗公園)に、養子の忠(ただ)朝(とも)により頌(しょう)徳(とく)碑(ひ)が建立されている。2代出羽守忠(ただ)朝(とも)の在位は8年間、延宝6年(1678)下総の佐倉へ転封した。

分野

歴史

◎地図・写真・統計資料など



市指定 大久保加賀守忠職碑  
唐津市和多田  
指定年月日:昭和58年7月24日

(『唐津市の文化財』より)

◎引用・参考文献(出典)

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話: 0955-72-3467

■ホームページ:  
[http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html)